

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 102-8081

住 所 東京都千代田区九段南 1-1-10 九段合同庁舎

氏 名 国家公務員共済組合連合会

理事長 松元 崇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 10 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	国家公務員共済組合連合会		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 高津区梶ヶ谷 1-3-1		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ 他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第 4 条第 1 号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 2 号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 3 号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第 4 条第 4 号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	1,638 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX 番号		
	メールアドレス		

※ 受付欄		※ 特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

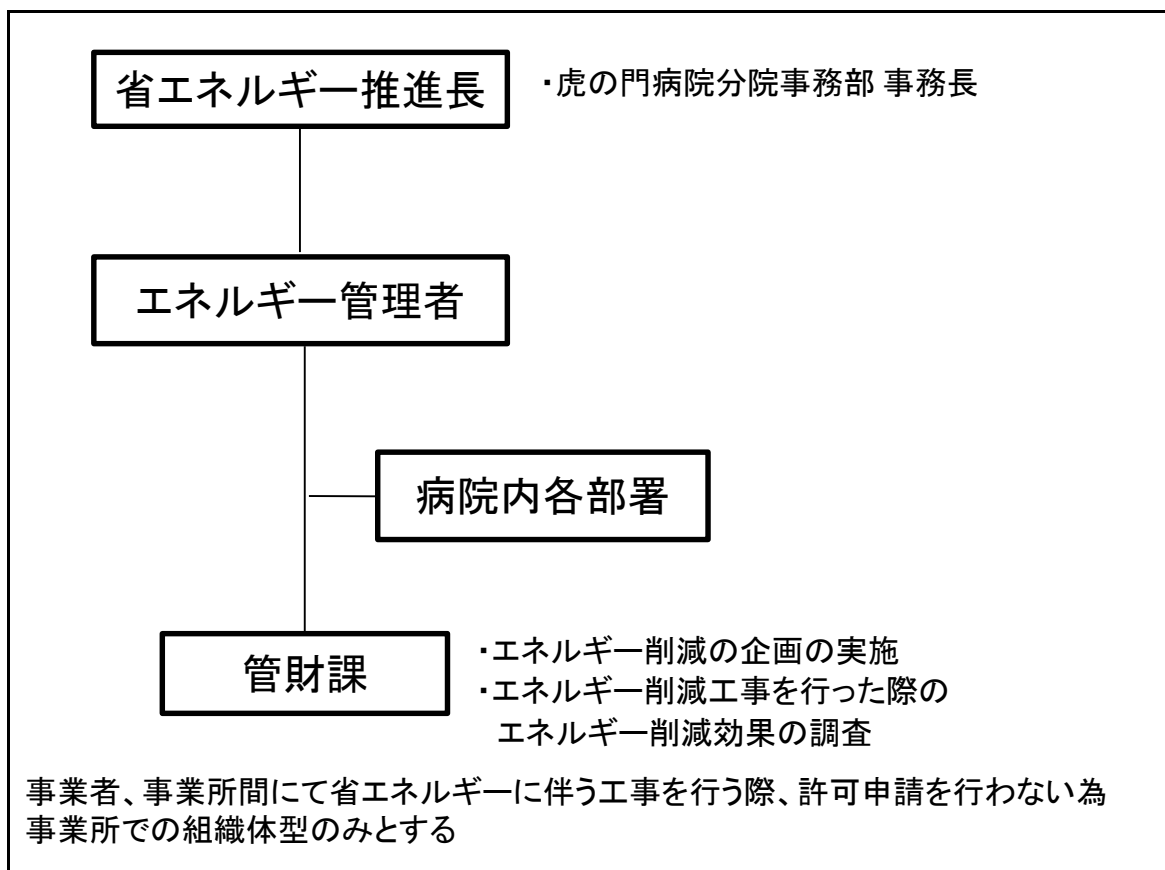
事業者の温室効果ガス削減の基本方針

- ・高効率機器の導入を進める。
 - ・エネルギーの損失を減らす。
 - ・照明や機器の運転、メンテナンスの管理標準を作成し適切な管理を行う。
- 以上の事を基本方針に定め、温室効果ガスを年1%の削減を目標とする。
また、上記の事業者の基本方針は事業所にも適用し削減を行う。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

削減対策を実施するには効果予測、効果の計測を行い、省エネルギーに関する会議において報告することにより、次の省エネルギー対策に活かす。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準排出量 (t-CO ₂)	(基) 3,203 (調) 3,203		(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) 3,125 (調) 3,125		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 (t-CO ₂)	(基) 78 (調) 78		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 2.4 % (調) 2.4 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基)	3,696	(基)		(基)	
	(調)	3,281	(調)		(調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基)	3,125	(基)		(基)	
	(調)	3,125	(調)		(調)	
削減率 (目標)	(基)	15.4 %	(基)	%	(基)	%
	(調)	4.8 %	(調)	%	(調)	%
削減率 (第 1 年度)	(基)	%	(基)	%	(基)	%
	(調)	%	(調)	%	(調)	%
削減率 (第 2 年度)	(基)	%	(基)	%	(基)	%
	(調)	%	(調)	%	(調)	%
削減率 (第 3 年度)	(基)	%	(基)	%	(基)	%
	(調)	%	(調)	%	(調)	%

(3) 目標設定に関する説明

<p>下記の削減を行う事により年間77.87 (t-CO₂) の削減を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スチームトラップのメンテナンスを行うことにより年間6.15 (t-CO₂) の削減 ・ 中間期の冷房時期の冷温水発生器送水温度を2°C上昇させることにより年間10.27 (t-CO₂) の削減 ・ 冷温水発生器の更新することにより年間61.6 (t-CO₂) の削減 <p>これにより3年間約78.02 (t-CO₂) の削減を目標とする。</p>

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	<p>(1) ボイラーの負荷管理及び効率管理 スチームトラップのメンテナンスを行う</p> <p>(2) 空気調和設備の効率管理 中間期の冷房時期の冷温水発生器送水温度の見直しを行う。</p> <p>(3) 新設、更新等における措置 冷温水発生器を高効率機器へ更新を行う。</p>
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		延床面積		原単位等の単位		kl/m ²
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度	
エネルギー消費原単位等の値	0.05368					0.05241
活動量の値	30,511					30,511
エネルギー消費原単位等の削減率		%	%	%		2.4 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量		延床面積		原単位等の単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度	
排出量原単位等の値						
活動量の値						
排出量原単位等の削減率		%	%	%		%

(3) 目標設定に関する説明

<p>下記の削減を行う事により原油換算38klのエネルギー削減を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気ボイラーの運転時間を見直すことにより年間原油換算3klのエネルギー削減 ・中間期の冷房時期の冷温水発生器送水温度を2℃上昇させることにより年間原油換算5klのエネルギー削減の削減 ・冷温水発生器の更新することにより年間原油換算30klのエネルギー削減 <p>これにより原単位を0.05241とすることを目標とする。</p>

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	1,638 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	3,203 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	1			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量<<クレジット考慮>> (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
虎の門病院分院	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1	3,203			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	(1) ボイラーの負荷管理及び効率管理 スチームトラップのメンテナンスを行う (2) 空気調和設備の効率管理 中間期の冷房時期の冷温水発生器送水温度の見直しを行う。 (3) 新設、更新等における措置 冷温水発生器を高効率機器へ更新を行う。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入(保有)年度
太陽光				
風力				
バイオマス (燃料:)				
その他()				
その他()				
合計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー 消費量	4,569,690 kWh	kWh	kWh	kWh	4,569,690 kWh
再エネ電源等	228,485 kWh	kWh	kWh	kWh	228,485 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	%	%	%	5.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.431				0.431

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	62.2 %	%	%	%	62.2 %

(4) 目標設定に関する説明

現在は劣化した設備を入れ替えることが優先事項であるため、再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に関する事項は特に無いため、現状維持を目標設定とする。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	無し	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行う。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行う。 ・廃棄物の分別化の推進を図る。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行う。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行う。
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	